

このたびはご多忙の中、在宅医療研修プログラムの他施設交流研修を引き受けてくださり誠にありがとうございました。1日を通して、気がついた点と印象に残った点をまとめさせていただきます。

今回の研修では病児保育かいつぶり、うりずん、訪問診療を見学させていただきました。

まずかいつぶりでは、診療所の他の利用者さんに感染させないように入室までの導線を工夫されていたこと、入室が可能かどうかを医師がしっかり評価していました。医師が評価する理由としては、入院の判断が必要なことと、限られた部屋数でなるべく多くの人数を預かるために疾患を分類してピンポン感染を防ぐことが考えられました。以前総合病院に併設されている病児保育を見学したことがありましたが、規模が小さいひばりクリニックは経営面では総合病院よりもシビアでした。同疾患でなければ同室でみることができず満員にすることが難しく、キャンセルの予測つかないために難しいことがわかりましたが、利用者がいなければ保育士さんであっても診療所の仕事を手伝う工夫をされていることもわかりました。病児保育は仕事と育児を両立されている家庭には必要不可欠であり、共働きをせざるを得ない世の中では必要であるが、公的な援助がまだまだ不十分であり、採算度返しで続けられていることに感銘を受けました。

次にうりずんでは、他では受け入れが困難な医療的ケア児を預かることで、利用者さんに外出出来る機会、肉体的にも精神的にも刺激のある生活、家以外に楽しむ空間を提供していると感じました。また主介護者の家族の自由な時間を確保して、家族のストレスを軽減し、帰ってきた後の自宅でのケアの質も高めるとも予想できました。今回は運良くボランティアの方々の創意工夫に富んだ出し物を見る事が出来ましたが、出し物を提供することが生きがいにもなり思考や他者と交わることで認知機能低下を緩やかにするメリットがあり一方的な施しだけではないと感じました。こちらも病児保育と同じく採算度外視の配置でしたが、利用者さんと1対1で向き合えることで質の高いケアを行い、預かりだけに留まらず遊ぶことも考えられ、ご自身の仕事に誇りを持ち、生き生きと働かれるスタッフの方々が印象的でした。施設全体を通して感じられる木の温もりだけではなく、壁紙やスヌーズレンなど環境要因にこだわって安心を提供し、従来の日本の施設とは違い、素敵な空間を表現されていて先端的な取り組みをされていると思いました。他に環境に関しては、排泄にも気を配られていて、おむつを替える部屋が用意されて、手がかかったとしても人間として隠したい排泄という行為を別空間で行う努力をされており、この点でも人間の尊厳を保つ工夫をされていると感じました。うりずんには利用者さんとその家族だけではなく、その友人や、地域住民、日本の社会全体でうりずんを盛り上げていく体制が出来ており（夜の動物園や寄附など）、様々な相互作用を生み出す空間となっていることを感じ、非常に素敵な空間であ

ることを感じました。またうりずんを別組織にすることで、不用意な廃止を防ぐ戦略をとられたのもこのご時世必要なことだと勉強になりました。

最後に訪問診療ですが、先生方の診察という行為をルーティンワークや苦痛ではなく、楽しませつつ、バイタル・表情・皮膚の状態などに気にかけるお姿は、自分には無かったものなので、これから意識して診察ができるようになればよいと思いました。また必ず、ご家族に対して配慮される姿も感銘をうけ、梶原診療所に戻って自分の中で根付けばと思いました。一日を通して、自分の目標となる取り組みをされている存在を知ることが出来たことが大きな収穫でした。また高橋先生のスタート時とは違い、自分はスタート時から高橋先生が切り開いてくださった道があるので、後は自分次第で目標に到達出来るのだと自分を鼓舞しなければならぬと思えました。研修の最後に先生が述べられていた貧困家庭や弱い家庭に対する取り組みですが、いくら日経平均株価が上昇しても、そういった家庭を社会全体で見えていく意識がなければ、本当に安心して生活できる社会は構築出来ないと思いました。人生は何が起こるかわからないですが、どんな災難にあっても安心でき、チャレンジができる社会にならなければ日本が益々衰退してしまうので、これから日本で生活していく子達に、自信を持って日本で住むことを勧められる仕事をしたいと思うそんな一日でした。

文章の前後でつながりに欠け、大変読みづらい文章になってしまったとは思いますが、お許し頂けると幸いです。このたびはお忙しいのに色々と指導していただき、本当にありがとうございました。自分が立ち止まってしまった際にはお助け頂けると幸いです。よろしく願いいたします。